

トルコ・レーズン収穫状況



2012年産トルコレーズンの収穫予想量は公式発表では前年対比107%の28万6千トンと、過去4年間の中で最も豊作見込みとなっていますが、原料の収穫状況、入荷状況が良い事からパッカーの感触では、30万トン以上まで伸びる可能性もあるとの見解です。

トルコレーズンの一部は国内で消費されますが、9割弱は輸出向けとなっています。2012年産トルコレーズンの輸出量は、2013年2月23日現在、昨年同期比で約8%増の13万5,627トンとなっています。これは、カリフォルニアレーズンの市場価格が高値で推移している一方、豊作と主要マーケットの欧州の需要減少によりオープニング価格が昨年に比べて下落した事で値頃感がある事に起因しています。

なお、2013年3月上旬現在、原料主産地であるマニサ地区の気候は例年より温暖で、一部の農家では既に開花が始まっています。ただし、季節的にはこれから寒波に襲われる可能性もあり、その場合、多くのつぼみが霜による被害を受けると懸念される為、5月頃までは注視が必要です。